

弘前薬剤師会広報

支部通信

- 1/10 第2回健康ひろさき21(第2次)策定会議
弘前市保健センター
- 1/11 県薬役員会 青森国際ホテル
- 1/11 県薬新年互礼会 青森国際ホテル
- 1/11 弘前市医師会新年会 ホテルニューキャッスル
- 1/11 弘前歯科医師会新年会 ホテルニューキャッスル
- 1/11 南黒歯科医師会新年会 富士見館
- 1/15 第9回親睦委員会 さいとう調剤薬局本町店
- 1/18 第28回薬剤師生涯セミナー ホテルニューキャッスル
- 1/18 弘前薬剤師会新年会 ホテルニューキャッスル
- 1/21 第6回ひろさき健幸いきいきプロジェクト
チーム会議 市立観光館
- 1/21 支部役員会 みんな調剤薬局アルカディア店
- 1/24 弘前地区「在宅医療支援センター薬局支援事業」にかかわる研修会 ホテルニューキャッスル
- 1/26 一般用医薬品研修会(青森会場) アピオ青森
- 1/29 津軽地域新型インフルエンザ対策協議会
弘前市保健センター
- 1/29 第11回在宅医療勉強会 土手町コミュニティパーク

役員会だより

第11回役員幹事会 議事録

日時：平成26年1月21日(火) 午後7時15分

場所：みんな調剤薬局アルカディア店

出席者：前田会長、磯木、鈴木、各副会長、八木橋専務、田澤、佐々木(直)、工藤、小林、葛西、齋藤(武)、相馬、上田、奈良、吉岡、小笠原、加藤各幹事、櫻庭、齋藤(士)各監査役

●報告事項

(1) 第9回親睦委員会(1/15)

*麻雀大会

- ・現在参加3名のみ、声掛けする。
- ・歯科医師会横山専務が参加連絡あり→参加了承。

一般社団法人 青森県薬剤師会
弘前支部広報 第210号
発行日 2014年(平成26年)2月1日
発行所(一社)青森県薬剤師会 弘前支部
弘前市富田3丁目14-1
TEL (0172)32-6205 FAX (0172)32-9199
<http://hirosakiyaku.com/>

*今後の体制

・現在の委員のうち、役員幹事を兼任者は来年度以降外れる。若くやる気のある薬剤師を募集中。

(2) 新年会(1/18)

- ・67名参加(来賓13名、会員44名、新入会員10名)
- ・講師2名参加。

(3) 第28回薬剤師生涯セミナー(1/18) 118名参加

*保健所(薬事法等)

・基本的なことを確認する事ができ、とても良い研修会になったという意見が多かった。

・今後年1回ペースで開催の方向。

*オフィス町内会

・機密文書について、持込：15円/kg 集配：30円/kg

・集配は鍵つきの箱(業者用意)で持っていく。

・工場でシュレッダーにかける。立ち合い可能。

・今号詳細記事を有り。

(4) 弘前地区「在宅医療支援センター薬局事業」研修会(1/24)

・現時点で参加申し込み85名。

・講師：伊東内科小児科クリニック 伊東重豪先生

(5) 夜間電話相談事業(2・3月)

・土日休みの薬局を土日に充てると、電話を持っていくことができないため避ける。(今回事例発生)

(6) その他委員会報告

*実務実習委員会

・来年度青森大学でワークショップを行えるようにする。参加した薬剤師の薬局は必ず受け入れのこと。

*一般用医薬品委員会

・1/26青森で開催する症候学の研修会にぜひ参加して頂きたい。

・エッセンシャルドラッグに関して、各商品のマニュアル作りや研修会の企画を考えている。

・エッセンシャルドラッグの申し込み期限は1/24だが遅れて参加することも可能。

●協議（審議）事項

委員会だより

(1) 平成 26 年度弘前支部予算案

・ 県薬の支部として行う事業予算が 128 万円ある。
・ 広報、研修、啓発（カルチャロード、健康祭りなど）で行う。

(2) 弘前歯科医師会訪問歯科診療 PR ポスター配布
・ 文書での依頼があってもよいのではないかという意見もあったが、次回役員会にて決済すると歯科医師会への対応が遅くなるため今回の議題に上げた。三師会の協力は今までもこれからも必要で、我々薬剤師会のポスターも協力的に掲示・配布してもらっているし柔軟に前向きかつ迅速に検討すべきとの意見もあった。磯木副会長に歯科医師会へ再度詳細を確認してもらい配布・掲示に関して三役会等で協議予定。

(3) 細則提案・・・研修会受付等係研修参加費免除 *提案

・ 研修会の受付や準備に関して準備にあたる各委員会に相当負担がかかる事は勿論承知ではあるが、現実には受付を行っている会員薬剤師が研修会を聴くことができる時間が限られているため参加費を無料でもいいのではないかと。

*意見

・ ボランティアでやっているのだから、役員で回して受付をやるべきではないかと。
・ 事務局に時間外の費用を払い願う。

*決

・ 受付を開始時間に一旦閉めて、研修会終了後に遅参した薬剤師のために受付を作る。
・ 広報、研修会の時などにこのような体制になったことを啓蒙する。

●県薬役員会・委員会報告

(1) 県薬理事会 (1/11) 支部 ML の PDF 添付参照
・ 木村事務局長が今年度をもって退職。新事務局長予定者として渋谷さんが理事会にオブザーバーで参加した。

(2) 新年互礼会 (1/11) 青森国際ホテル

(3) 新入会員 退会者 なし

(4) 一般用医薬品研修会 (青森 1/26 八戸 2/2)

(5) その他、県薬出向委員会報告

★★各種研修会での受付について★★

平成 26 年 1 月の役員幹事会において、各種研修会及び講習会の参加受付方法について下記の通り決めましたので、お知らせ致します。

○ 受付は講演開始時間で一旦締め切ります。勤務の都合上遅れて参加される場合などは、講演終了後再度受付を設けますのでお手数ですが受付にお立ち寄り頂きますようお願い致します。

○ 講演中は、受付担当も一受講者として講演に参加させていただきますので、講演中の「芳名記帳」「参加費の徴収」「研修シール配付」は行いません。研修終了後に手続きを再開致します。

○ 受付締切時、配付資料は会場の入り口付近に準備しておりますので、各自受け取って頂くようご協力下さい。

○ 参加申込を行う研修会の場合 (FAX 申込)、可能な限り事前申込にご協力下さい。当日参加も可能ですが、座席の準備等の効率化のためよろしくお願い致します。

なお、メーカー共催等で受付業務を会員が行わない場合は、従来通り講演時間通して受付を設ける場合もございます。

今後各種研修会のご案内には受付時間を明記する事といたしますので、可能な限り時間内に受付頂くよう重ねてお願い致します。

※「弘前地区オフィス町内会」

参加事業者募集中※

薬局等から出る医薬品の容器、紙箱、ダンボール、コピー用紙などの古紙を無料で回収するのが、「オフィス町内会」です。

青森県は、全国と比べて紙のリサイクル率が低迷しています。特に事業系の紙ごみの排出量が多く、古紙のリサイクル率が進んでいません。オフィス町内会に入会すると、回収事業者が無料で定期回収してくれます。

(機密文書は有料です) この機会に「オフィス町内会」に入会して、紙ゴミの減量化に取り組み、省資源、省

エネで地球温暖化の防止に協力しませんか？

★取扱品目・回収料金

1. 一般古紙(ダンボール、新聞、その他の紙) 無料
2. 機密文書(処方せん等) 有料(1kg30円くらい)

★利用相談・申込窓口

(株)伸和産業 弘前市堅田1-4-2

電話：35-5255 FAX：35-5257

広報情報委員会

● 弘前市立病院

《 新規院外登録薬品 》

ゴナールエフ皮下注ペン 300

ソフィア C 配合錠

ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯エキス顆粒 (No.119)

ツムラ桂枝茯苓丸加薏苡仁エキス顆粒 (No.125)

ティーエスワン配合 OD 錠 T20

ティーエスワン配合 OD 錠 T25

● 弘前大学医学部附属病院

《 新規院外登録薬品 》

リバロ OD 錠 4mg

アゾルガ配合懸濁性点眼液

ルナバル配合錠 LD

● 国立病院機構弘前病院

《 新規院外登録薬品 》

クロロマイセチン軟膏 2%

ツムラ麻黄湯エキス顆粒 (No.27)

生涯学習委員会

弘前大学医学部附属病院

緩和ケア公開講座 第18回勉強会

日時：平成26年2月20日(木) 18:00~19:30

場所：医学部臨床小講義室

「緩和ケアにおける漢方薬について」

緩和ケア診療室 佐藤 哲観 先生

主催：弘前大学医学部附属病院 腫瘍センター

企画運営：同 緩和ケア診療室

共催：青森県薬剤師会弘前支部

日本薬剤師研修センター集合研修1単位

JPALS 研修会コード:02-2013-0070-101

参加ご希望の方は、2月12日(水)までにFAX
(送信先0172-32-9199)で申込みをお願いします。

平成25年度

青森県臨床内科医学会 弘前大会

日時：平成26年3月15日(土) 15:30~18:55

場所：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階 アジスト

弘前市大町1-1-2 TEL:0172-37-0700

【製品紹介】15:30~15:45 興和創薬株式会社
選択的DPP-4阻害剤「スイニー錠100mg」について

【教育講演1】15:50~16:20

「大腸癌死亡率日本一からの脱却を目指して
- 当院の5年間の取り組み -」

消化器内科中畑クリニック 院長 中畑 元 先生

【教育講演2】16:20~16:50

「短命県返上のためには禁煙外来、
喫煙防止教室、受動喫煙防止条例が必要」

ナルミ医院 院長 鳴海 晃 先生

【特別講演1】16:50~17:50

「グルコーススパイクによる腎血管障害の
メカニズムとその治療」

東北大学大学院医学研究科

腎・高血圧・内分泌学分野 准教授 小川 晋 先生

【特別講演2】17:50~18:50

「管見医学史〜フィラデルフィアの窓から〜」
公益財団法人 日本腎臓病研究財団

理事長 竹内 正 先生

共催：青森県臨床内科医学会、興和創薬株式会社

後援：青森県医師会、弘前市医師会

南黒医師会(予定)、日本臨床内科医学会

青森県薬剤師会弘前支部

開局委員会

第28回薬剤師生涯セミナー報告

開局委員会委員長 工藤和信

1月18日(土)ホテルニューキャッスル弘前にて、
中南地域県民局地域健康福祉部 保健総室 指導予
防課、主査 三浦拓先生、技師 葛西優先生を講師
にお招きして、第28回薬剤師生涯セミナー「薬事
関係法令の留意点」が開催されました。118名とい

う多数の会員にご参加頂きました。

内容は、私達の日常業務の常識であるにも関わらず、管理記録簿を毎日付けていない薬局、業務指針の更新をしていない薬局などがあるとの報告であり、いま一度、管理体制の見直しをし、強化していくべきであり、さらに会員一人一人の管理意識が重要であると感じました。

また、覚せい剤原料であるエフピー錠の取扱いについて、患者様からの返品は絶対受けてはいけない、ということであり私達も十分注意が必要であると痛感しました。講演会は、クイズ形式になっていたりと、私達を飽きさせない工夫があり、内容も非常に噛み砕いたとても分かりやすいもので、大変勉強になり、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

この場をお借りして、たくさんの参加者の皆様にもお礼申し上げます。

弘前中央病院様より依頼

---一般名処方・後発品変更可により調剤した薬剤の銘柄等の当院への情報提供について---

平素は、当院の院外処方箋の発行にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、当院で発行した一般名処方・後発品変更可による処方箋に関して、保険薬局からの調剤した薬剤の銘柄等に関する情報提供は、変更直後のみ必要として、2回目以降は不要とすることを決定しましたのでご連絡いたします。

つきまして、対象は先発医薬品から後発医薬品への変更調剤および後発医薬品の銘柄変更調剤、規格変更を行った調剤の場合となります。

何卒、ご理解、ご協力賜ります様お願い申し上げます。

弘前中央病院長 賀佐 富二彦

親睦委員会

新年会報告

親睦委員会 田村 顕人

1/18日(土) 17時30分よりホテルニューキャッスルにて新年会が開催され、今年もたくさんのご来賓と会員にご出席いただきました。

会に先立ちまして前田会長から新年のご挨拶があり、ご来賓の葛西憲之市長、秋山邦男弘前市医師会

副会長、高橋学青森県薬剤師会専務理事からご祝辞を頂いた後、柴田典明弘前歯科医師会会長の乾杯により弘前薬剤師会の新年会が始まりました。

新年会では昨年受賞されました齋藤士郎先生、菊池清二先生には花束を贈呈してお祝いしました。また、今年は10名という沢山の新入会員が参加され、自己紹介もして頂きました。

新年会恒例の余興ではビンゴと箱の中身を当てるクイズを行い、ゲストで出演した弘前薬剤師会非公認シンボルキャラクター「やぎはっしー」の登場に、会場も大変盛り上がりました。そして、19時30分に八木橋栄一先生の中締めで閉会となりました。

最後となりましたが、当日ご参加頂きました皆様に心よりお礼申し上げます。

在宅医療推進委員会

在宅研修会報告

在宅医療推進委員会委員長 相馬 渉

1月24日(金) ホテルニューキャッスルにて在宅医療支援センター薬局支援事業にかかわる研修会が行われました。76名の多数の参加者がありました。

始めに高橋学先生から事業の説明があり、今後3年間で在宅推進のための研修会が多数あることの報告がありました。青森のセンター薬局を中心に無菌調剤について研修会も企画していく予定です。

伊東重豪先生から弘前市は人口減少し、死に場所難民が増えてくるので、必然的に在宅医療に取り組んでいかなくてはいけないことと、今後の弘前医師会の方向性など幅広く学ぶことができました。薬剤師は薬局で待っているのではなく、どんどん外に出ていき、多職種と連携して薬剤師の職能をアピールしていかなくてはいけないことを強く感じる研修会でした。

今後、在宅医療推進委員会では、在宅医療に踏み出せるため研修会を企画していきますので、皆さんぜひ参加してください。

編集者：奈良 卓、佐々木 直実